

日本史特殊講義1C- II

科目ナンバリング JPH-202
選択必修 2単位

相澤 央

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代史の研究において、木簡・墨書土器・漆紙文書などの出土文字資料は、今や欠かせない重要な資料である。本講義では、これら出土文字資料を活用して古代の政治社会史を論じる。これまでの文献史料に基づく研究成果を踏まえた上で、出土文字資料を、その資料としての特徴に注意しながら用いることによって、新たにどのようなことが明らかになったのか。具体的に出土文字資料の分析を解説しながら授業を進める。秋期は、古代の税制、交通制度、農業経営など、個別のテーマに沿って論じる。

2. 授業の到達目標

- ①古代の政治や地域社会の諸相について理解する。
- ②授業の中で特に興味をもったテーマについて、参考文献を読むなどして理解を深め、自分なりの考えをもち、レポートにまとめる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内容についてのコメントシート(30%)と、秋期授業終了時に提出する4,000字程度のレポート(70%)で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しない。毎回配布するレジユメにより授業する。

参考文献

木簡学会 『木簡から古代がみえる』 岩波新書

平川南 『古代地方木簡の研究』 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

授業内容の復習をしっかりと行い、関心をもって授業に臨むこと。授業で紹介した参考文献などを読み、自分なりの考えをもちようとする。

6. その他履修上の注意事項

毎回、授業内容についてのコメントシート(感想・質問)を提出してもらおう。なお、7の授業内容は進行状況により変更することがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容、進め方などについてのガイダンス
- 【第2回】 出土文字資料概論
- 【第3回】 出土文字資料からみた古代の税制①税物の調達から運送まで
- 【第4回】 出土文字資料からみた古代の税制②出挙運営の実態
- 【第5回】 出土文字資料からみた古代の交通①古代の駅路と駅家
- 【第6回】 出土文字資料からみた古代の交通②過所木簡
- 【第7回】 出土文字資料からみた古代の交通③末端の情報伝達
- 【第8回】 出土文字資料からみた古代の交通④古代の港湾施設
- 【第9回】 出土文字資料からみた古代の農業①種子札と古代の稲作
- 【第10回】 出土文字資料からみた古代の農業②賃租と木簡
- 【第11回】 出土文字資料からみた古代の農業③田起こし労働と人々の動員
- 【第12回】 出土文字資料からみた古代の農業④里刀自と田植え労働
- 【第13回】 出土文字資料からみた古代・中世の信仰①古代の内神信仰
- 【第14回】 出土文字資料からみた古代・中世の信仰②地方社会における国家仏教
- 【第15回】 出土文字資料からみた古代・中世の信仰③鎌倉時代の鑑札と呪符